

瀬戸内国際芸術祭 2022

新型コロナウイルス感染症対策の指針

令和4年3月3日
瀬戸内国際芸術祭実行委員会

《はじめに》

瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催に当たっては、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」及び「新型コロナウイルス感染症に対する香川県対処方針」を基本的な指針として、「新しい生活様式」や業種毎に策定される感染拡大予防ガイドライン等に基づく適切な感染対策を実施します。

また、香川県新型コロナウイルス対策本部決定の「イベント等の開催に係る留意事項」を踏まえ、飛沫の抑制の徹底、手洗、手指・施設消毒の徹底、換気の徹底、来場者の密集回避等をはじめとした対応を徹底します。

特に、会場の多くが医療体制の脆弱な離島であることを十分踏まえ、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、地元市町や関係団体等とも連携して、必要な対策を講じていきます。

これらの対策を確実に実施し、島民や来場の皆様に安心して芸術祭を楽しんでいただけるよう、基本的な感染対策やケース別（作品及び施設の公開、食の提供、案内所、公式ショップ等）の対応、来場者の検温及び体調確認、地域における感染対策、感染状況を踏まえた芸術祭の開催の考え方等について、次のとおり指針を策定します。

なお、今後、政府や香川県の対処方針等が更新された場合は、適宜対策の見直しを行います。

また、本指針に基づき、運営マニュアルを作成し、関係者間で共有して、感染対策を徹底します。

《目次》

- 1 基本的な感染対策について … p 2
 - (1) 基本的な対策（共通事項） … p 2
 - (2) イベント開催時の対策 … p 2
- 2 ケース別の対応について … p 3
 - (1) 作品及び施設の公開 … p 3
 - (2) 食の提供 … p 4
 - (3) 案内所 … p 5
 - (4) 公式ショップ … p 6
 - (5) 公式ツアー … p 7
 - (6) 式典（開会式等） … p 8
 - (7) 開催準備（作品制作等） … p 9
- 3 来場者の検温及び体調確認等について … p 10
 - (1) 検温及び体調確認 … p 10
 - (2) 島での有症状者の発生時の対応等 … p 10

※ 島毎の対応については、別紙（p 13～）のとおり
- 4 地域における感染対策について … p 11
- 5 感染状況を踏まえた芸術祭の開催の考え方について … p 12
 - (1) 通常時 … p 12
 - (2) まん延防止等重点措置時 … p 12
 - (3) 緊急事態宣言時 … p 12
 - (4) その他 … p 12

1 基本的な感染対策について

国の感染防止策チェックリストの内容等を踏まえ、基本的な感染対策として、次の対策を実施します。

(1) 基本的な対策（共通事項）

項目	対策
飛沫の抑制の徹底	<ul style="list-style-type: none"> マスク（不織布マスクを推奨）の着用や咳エチケットの実践、大声を出さないことを周知・徹底する（マスクを持参していない人には、案内所等で配布）。
手洗、手指・施設消毒の徹底	<ul style="list-style-type: none"> こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等への手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）。 施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒を実施する。
換気の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上等）を徹底する。
来場者間の密集回避	<ul style="list-style-type: none"> 入退場時の密集を回避する措置（時間差入退場等）を実施する。 休憩時間や待合場所での密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制を構築する。 大声を伴わない場合は、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性がある場合は、前後左右の座席との身体的距離を確保する。
飲食の制限	<ul style="list-style-type: none"> 飲食用の対策を行ったエリア以外での飲食の自粛を呼びかける。 飲食中以外のマスク着用の徹底を呼びかける。 飲食時の感染対策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）を徹底する。
来場者の制限等	<ul style="list-style-type: none"> 来場者の検温及び体調確認（リストバンドの配布）を実施し、有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）には入場をお断りする。 有症状者は入場できないことや、体調不良時には来場（島への渡航）を控えることなどを、公式ウェブサイト等で周知する。 チケット購入時や入場時に連絡先（氏名及び電話番号）の確認を行い、来場者を把握する（必要に応じて保健所等に情報提供を行うことを事前に周知）。 接触確認アプリ（COCOA）等の利用を推奨する。
スタッフの感染対策等	<ul style="list-style-type: none"> 準備段階からスタッフの感染対策（マスクの着用、手洗・手指消毒の徹底、換気の徹底、密集回避等）及び健康管理（毎朝の検温及び体調確認、体調不良時の自宅待機や保健所等への相談、医療機関の受診の要請等）を徹底する。 館内放送や看板等を活用して周知を行うなど、接触機会の低減を図る。

(2) イベント開催時の対策

項目	対策
出演者の感染対策等	<ul style="list-style-type: none"> 出演者の感染対策及び健康管理（(1)のスタッフの感染対策等と同じ）を徹底する。 イベントの開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。 出演者やスタッフ等と観客がイベントの前後や休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる。
参加者の把握	<ul style="list-style-type: none"> チケット購入時又は入場時に連絡先（氏名及び電話番号）の確認を行い、参加者を把握する。

※ 必要に応じて、屋内作品の入場制限の強化等の対策を行うことを検討

2 ケース別の対応について

1の基本的な感染対策に加えて、業種毎に策定される感染拡大予防ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を参考にして、次のケース別に必要な対策を実施します。

なお、イベントについては、内容（演劇や舞踏、音楽等のパフォーマンス、フォーラム、ワークショップ、物販等）が多岐にわたり、規模も様々であることから、それぞれに対応する感染拡大予防ガイドラインを踏まえて、必要な対策を講じます。

(1) 作品及び施設の公開

① 対象

瀬戸内国際芸術祭 2022 の作品番号が付された全ての作品及び施設

② 参考とする感染拡大予防ガイドライン

博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（公益財団法人日本博物館協会）

③ 基本的な感染対策に加えて実施する対策

項目	対策
飛沫の抑制の徹底	<ul style="list-style-type: none">・ 屋内作品及び施設内での会話の制限を行い、大声を出す者がいた場合は、個別に注意等を行う。・ 受付等では、アクリル板や透明ビニールカーテンにより来場者とスタッフとの間を遮蔽する。
手洗、手指・施設消毒の徹底	<ul style="list-style-type: none">・ 来場者が直接手で触れることを想定した屋内の展示物等の定期的かつ来場者数等に応じた消毒を実施する。
換気の徹底	<ul style="list-style-type: none">・ 屋内作品及び施設の状況に応じて、二酸化炭素モニターやサーキュレーターの使用を検討する。
来場者間の密集回避	<ul style="list-style-type: none">・ 屋内作品及び施設の状況に応じて、人数制限を設ける。・ フロアマーカの設置等の工夫を行い、来場者同士の間隔を確保する。・ 案内看板等により、特定の作品等で大勢の来場者が滞留しないための措置を講じる。
来場者の制限等	<ul style="list-style-type: none">・ 有症状者は屋内作品及び施設に入場できないことを入口に掲示する。
スタッフの感染対策等	<ul style="list-style-type: none">・ ボランティアサポーターの感染対策（マスクの着用、手洗・手指消毒の徹底、換気の徹底、密集回避等）及び健康管理（毎朝の検温及び体調確認、体調不良時の自宅待機や保健所等への相談、医療機関の受診の要請等）を徹底する。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 電子パスポート（キャッシュレス決済）の利用を推奨する。・ 来場者の手が触れる場を最低限にする。・ パンフレット等の配布物は据置きを原則とする。・ 現金等の受渡しは、コイントレー等の使用を原則とする。・ 作品及び施設の清掃を徹底する。・ トイレでは、蓋を閉めて汚物を流すよう表示し、ハンドドライヤーや布製タオルの利用を中止する。・ 受付のない屋外作品については、公式ウェブサイト等で基本的な感染対策に関する注意喚起等を行う。

(2) 食の提供

① 対象

瀬戸内国際芸術祭実行委員会（以下「実行委員会」）が食の提供を行う全ての施設

② 参考とする感染拡大予防ガイドライン

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（改正）に基づく外食業の事業継続のためのガイドライン（一般社団法人日本フードサービス協会、一般社団法人全国生活衛生同業組合中央会）

③ 基本的な感染対策に加えて実施する対策

項目	対策
飛沫の抑制の徹底	<ul style="list-style-type: none">施設内での会話の制限を行い、大声を出す者がいた場合は、個別に注意等を行う。レジ等では、アクリル板や透明ビニールカーテンにより来場者とスタッフとの間を遮蔽する。
手洗、手指・施設消毒の徹底	<ul style="list-style-type: none">利用者が入れ替わる都度、テーブルやカウンターの消毒を行う。また、券売機やコイントレー等の定期的かつこまめな消毒を実施する。
換気の徹底	<ul style="list-style-type: none">施設の状況に応じて、二酸化炭素モニター等の使用を検討する。個室を使用する場合は、十分な換気を行う。
来場者間の密集回避	<ul style="list-style-type: none">施設内が混み合う場合は、人数制限を設ける。フロアマーカの設置等の工夫を行い、来場者同士の間隔を確保する。テーブルやカウンター席は、アクリル板等で区切るか、間隔を空けて座れるよう配置を工夫する。グループ間の安全を確保するため、他のグループとはできるだけ間隔を空ける。
来場者の制限等	<ul style="list-style-type: none">有症状者は利用できないことを入口に掲示する。
その他	<ul style="list-style-type: none">来場者や他のスタッフとの間隔を確保できるよう、バックヤードも含めたスタッフの動線を点検する。料理は大皿盛りを避けて、個々に提供する。スプーンや箸等の食器の共用や使い回しは避けるよう施設内に掲示する。来場者に対してキャッシュレス決済の利用を推奨する。来場者の手が触れる場を最低限にする。パンフレット等の配布物は据置きを原則とする。現金等の受渡しは、コイントレー等の使用を原則とする。スタッフの衣服（ユニフォーム等）をこまめに洗濯する。施設の清掃を徹底する。食品残渣等のゴミの処理は手袋を着用して行い、作業後は手洗や消毒を行う。トイレでは、蓋を閉めて汚物を流すよう表示し、ハンドドライヤーや布製タオルの利用を中止する。仕入先等の事業者に対しても、感染対策やスタッフの健康管理の取組みを促す。

(3) 案内所

① 対象

香川県及び関係市町が設置・運営する全ての案内所

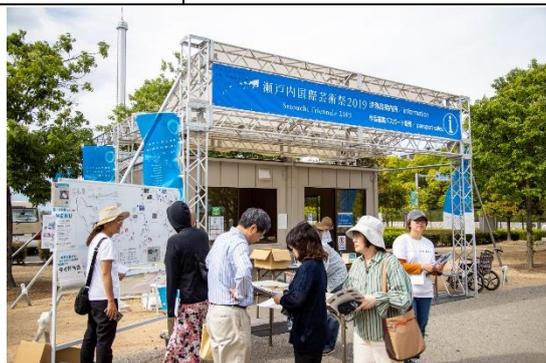
② 参考とする感染拡大予防ガイドライン

展示会業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン（一般社団法人日本展示会協会）

オフィスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（一般社団法人日本経済団体連合会）

③ 基本的な感染対策に加えて実施する対策

項目	対策
飛沫の抑制の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 受付等では、アクリル板や透明ビニールカーテンにより来場者とスタッフとの間を遮蔽する。
手洗、手指・施設消毒の徹底	<ul style="list-style-type: none"> テーブルや椅子、コイントレー等の定期的かつこまめな消毒を実施する。
換気の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 案内所内の換気に加え、オープンスペースでの来場者対応等の対策を講じる。
来場者間の密集回避	<ul style="list-style-type: none"> 案内所内が混み合う場合は、人数制限を設ける。 フロアマーカの設置等の工夫を行い、来場者同士の間隔を確保する。
来場者の制限等	<ul style="list-style-type: none"> 有症状者は芸術祭の作品や施設に入場できないことや、体調不良時には来場（島への渡航）を控えることなどを掲示して、来場者に呼びかける。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 研修等を通じて、感染対策に関するスタッフの理解や意識の向上を図る。 マスクの着用など基本的な感染対策の実施について、来場者に注意喚起を行う。 来場者に対してキャッシュレス決済の利用を推奨する。 来場者の手が触れる場を最低限にする。 パンフレット等の配布物は据置きを原則とする。 現金等の受渡しは、コイントレー等の使用を原則とする。 施設の清掃を徹底する。 トイレでは、蓋を閉めて汚物を流すよう表示し、ハンドドライヤーや布製タオルの利用を中止する。 仕入先等の事業者に対しても、感染対策やスタッフの健康管理の取組みを促す。



(4) 公式ショップ

① 対象

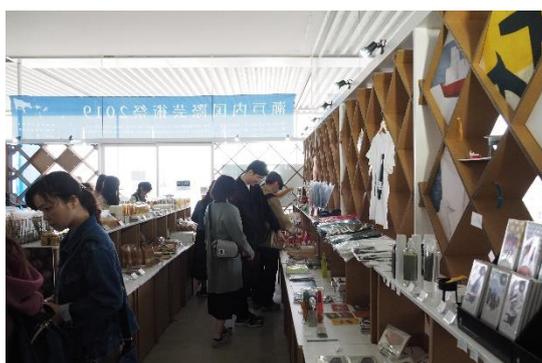
実行委員会が設置する高松港及び直島の公式ショップ

② 参考とする感染拡大予防ガイドライン

小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン（一般社団法人全国スーパーマーケット協会）

③ 基本的な感染対策に加えて実施する対策

項目	対策
飛沫の抑制の徹底	・ レジ等では、アクリル板や透明ビニールカーテンにより来場者とスタッフとの間を遮蔽する。
手洗、手指・施設消毒の徹底	・ 買物かごやコイントレー等の定期的かつこまめな消毒を実施する。
来場者間の密集回避	・ フロアマーカの設置等の工夫を行い、来場者同士の間隔を確保する。
来場者の制限等	・ 有症状者は利用できないことを入口に掲示する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来場者や他のスタッフとの間隔を確保できるよう、バックヤードも含めたスタッフの動線を点検する。 ・ 来場者に対してキャッシュレス決済の利用を推奨する。 ・ 来場者の手が触れる場を最低限にする。 ・ パンフレット等の配布物は据置きを原則とする。 ・ 現金等の受渡しは、コイントレー等の使用を原則とする。 ・ オンラインショップを利用することや、事前の買物リストの作成等により滞留時間を短縮することなどを、公式ウェブサイト等で周知する。 ・ 多くの来場者が触れることを想定した見本品等は置かない。 ・ 混雑に繋がるような販売促進策は自粛する。 ・ 施設の清掃を徹底する。 ・ 仕入先等の事業者に対しても、感染対策やスタッフの健康管理の取組みを促す。



(5) 公式ツアー

① 対象

実行委員会が実施する全てのツアー

② 参考とする感染拡大予防ガイドライン

旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン（一般社団法人日本旅行業協会、一般社団法人全国旅行業協会）

③ 基本的な感染対策に加えて実施する対策

項目	対策
飛沫の抑制の徹底	<ul style="list-style-type: none">・ 大声を出す者がいた場合は、個別に注意等を行う。・ 受付カウンター等では、アクリル板や透明ビニールカーテンにより参加者とスタッフとの間を遮蔽する。
手洗、手指・施設消毒の徹底	<ul style="list-style-type: none">・ 受付カウンターや備え置きの筆記具、コイントレー等の定期的かつこまめな消毒を実施する。・ バスの乗車時等の手指消毒の徹底を促す。
参加者間の密集回避	<ul style="list-style-type: none">・ 参加者がガイドの周りで密集することを避けるため、ガイドレシーバー等の利用も検討する。・ 混雑が予想される場所では、参加者を小グループに分けて、時間差で施設等に入場してもらうなどの工夫を行う。
参加者の制限等	<ul style="list-style-type: none">・ 有症状者は参加できないことを、事前に周知する。・ 出発前に参加者の検温及び体調確認（リストバンドの配布）を行い、有症状者には参加をお断りする。・ 旅行中に体調不良となった参加者が、離団して保健所への相談等ができるよう事前に準備する。また、離団した人が出発地等に戻るために必要な旅行サービスを手配できるよう準備する。
参加者の把握	<ul style="list-style-type: none">・ 参加申込時に、参加者の連絡先（氏名及び電話番号）を把握する。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 研修等を通じて、感染対策に関するスタッフの理解や意識の向上を図る。・ 適切な感染対策の実施を含めた旅程管理（交通機関や食事場所、宿泊施設、観光施設等）を行う。・ 旅行時の感染対策を参加者に説明し、実施を要請する。・ 感染状況の変化等により旅行の安全かつ円滑な実施が困難となった場合又は困難となる可能性が高い場合は、旅行を中止する。・ 旅行の開始後であっても、その後の旅行の安全な継続が困難となる可能性が高いことが分かった場合は、旅行を中止し、出発地に引き返す。・ 添乗中のスタッフが体調不良となった場合に備えて、代替要員の派遣等の対策を予め準備する。・ 参加者に対してキャッシュレス決済の利用を推奨する。・ 現金等の受渡しは、コイントレー等の使用を原則とする。

(6) 式典（開会式等）

① 対象

実行委員会が開催する全ての式典

② 参考とする感染拡大予防ガイドライン

新型コロナウイルス感染症禍における MICE 開催のためのガイドライン（一般社団法人日本コンベンション協会）

③ 基本的な感染対策に加えて実施する対策

項目	対策
飛沫の抑制の徹底	・ 受付等では、アクリル板等により参加者とスタッフとの間を遮蔽する。
手洗、手指・施設消毒の徹底	・ マイクやプレゼンテーション用のパソコンなど参加者が共用する物品の使用者ごとの交換や消毒を実施する。
換気の徹底	・ 空調設備により常時換気を行うほか、入退場口など一部の扉を開放する。
参加者間の密集回避	・ フロアマーカの設置等の工夫を行い、参加者同士の間隔を確保する。 ・ 大勢の参加者が会場前で滞留しないよう、早めに受付を開始する。 ・ 終了後に、エスカレーターやホール等の混雑で密にならないよう規制退場を検討する。
参加者の制限等	・ 有症状者は入場できないことを、参加者に事前に周知するとともに、施設の入口に掲示する。
参加者の把握	・ 参加申込時に、参加者の連絡先（氏名及び電話番号）を把握する。
その他	・ 安全安心な運営のために必要なスタッフ数等を割り出し、ジョブローテーションを工夫する。 ・ サイン看板等を掲出して、感染対策に関する参加者への協力依頼事項等を周知する。 ・ 式典の登壇者及び報道関係者などに対しても、一般の参加者と同様に、検温及び体調確認等を実施する。 ・ 来場者の手が触れる場を最低限にする。 ・ パンフレット等の配布物は据置きを原則とする。

(7) 開催準備（作品制作等）

① 対象

実行委員会が行う作品制作等の開催準備

② 参考とする感染拡大予防ガイドライン

建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（国土交通省）

③ 基本的な感染対策に加えて実施する対策

項目	対策
飛沫の抑制の徹底	<ul style="list-style-type: none">作業場所や休憩場所での会話の制限を行う。休憩場所では、必要に応じてアクリル板等により休憩者同士の間を遮蔽する。
手洗、手指・施設消毒の徹底	<ul style="list-style-type: none">ドアノブや電気のスイッチ等の共用部のほか、複数の作業者が頻繁に触れる個所の定期的かつこまめな消毒を実施し、必要に応じて使い捨てゴム手袋等を着用する。
換気の徹底	<ul style="list-style-type: none">作業場所や休憩場所でのこまめな換気を徹底する。
作業員間の密集回避	<ul style="list-style-type: none">作業場所や休憩場所の状況に応じて、人数制限を設ける。作業員を複数班に分けて、作業時間や休憩時間をずらすなどの工夫を行う。休憩場所で飲食する場合は、時間をずらす、椅子を間引くなどの工夫を行う。
作業員の制限等	<ul style="list-style-type: none">作業員の氏名、連絡先、人数、滞在時間、滞在場所、現場責任者等を把握する。作業員が会場の島に滞在して作品制作等を行う場合は、県内外の感染状況等も踏まえ、必要に応じてPCR検査等の実施を求める。気温及び湿度が高い日においては、現場の状況に応じて、熱中症リスクの軽減に取り組む。
その他	<ul style="list-style-type: none">研修等を通じて、感染対策に関する作業員の理解や意識の向上を図る。不要不急な部外者の立入りや現場見学を制限する。外部関係者が立ち入る場合は、当該者に対して、作業員に準じた感染防止対策を求める。作業員の手が触れる場を最低限にする。作業員の衣服（ユニフォーム等）をこまめに洗濯する。作業場所や休憩場所の清掃を徹底する。ゴミ等の回収を行う場合は、マスクや手袋を着用し、作業後に手洗いを徹底する。トイレでは、蓋を閉めて汚物を流すよう表示し、ハンドドライヤーや布製タオルの利用を中止する。

※ 上記の対策については、これまでの作品制作等の中でも実施しています。

3 来場者の検温及び体調確認等について

(1) 検温及び体調確認

実行委員会等のスタッフが、来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により、風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

来場者の検温等の実施場所については、多くの通勤客などを乗せた各方面行の大型フェリー等が頻繁に発着する港付近での密集の回避や来場者の円滑な周遊等の観点から、次のとおりとします。

なお、その他の場所（機会）においても、検温等とリストバンドの配布ができるよう、体制の整備に努めます。

会場	実施場所
直島、豊島、小豆島、犬島、沙弥島、高松港周辺、宇野港周辺	各作品（受付のない屋外作品は除く）及び施設の受付等
女木島、男木島、大島	高松港（発券所付近又は船乗場）
本島	丸亀港及び児島観光港（発券所付近又は船乗場）
高見島	多度津港（発券所付近又は船乗場）
栗島	須田港行バス乗場（JR詫間駅、経面臨時駐車場）
伊吹島	観音寺港（発券所付近又は船乗場）

(2) 島での有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 救護スペースの確保

各島において、有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができるスペースを確保します。

② 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会の本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

③ 密にならない状態での本土側への移動

ア 救急搬送（症状が重い場合）

救急艇等により本土側に搬送されます。そうした緊急時に備えて、地元市町の消防本部や本土側を含めた病院等との間の連絡体制を徹底するとともに、島外搬送の手段等を確認し、関係者間で共有しておきます。

イ 救急外搬送（症状が軽い場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、必要に応じてチャーター船を活用することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます。また、必要に応じて、島内搬送のための対策を講じます。

※ 島毎の対応については、別紙のとおりです。

4 地域における感染対策について

芸術祭の開催に当たっては、大勢の来場者が利用する地域の交通機関や宿泊施設、飲食店、ツアー等においても、会場の多くが離島であることを十分踏まえて、飛沫の抑制の徹底、手洗、手指・施設消毒の徹底、換気の徹底、利用者間の密集回避、飲食の制限、キャッシュレス決済の導入の検討、スタッフの健康管理などの感染対策を実施することが望まれます。

このため、それぞれに対応する感染拡大予防ガイドラインの遵守など必要な対策が講じられるよう、地元市町や関係団体等を通じて協力を依頼します。

	対応する感染拡大予防ガイドライン（例）
交通機関	<ul style="list-style-type: none">・旅客船事業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（一般社団法人日本旅客船協会）・バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（公益社団法人日本バス協会）・貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン（貸切バス旅行連絡会）
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none">・宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会、一般社団法人日本旅館協会、全日本シティホテル連盟）
飲食店	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（改正）に基づく外食業の継続のためのガイドライン（一般社団法人日本フードサービス協会、一般社団法人全国生活衛生同業組合中央会）
ツアー	<ul style="list-style-type: none">・旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン（一般社団法人日本旅行業協会、一般社団法人全国旅行業協会）

5 感染状況を踏まえた芸術祭の開催の考え方について

(1) 通常時

本指針に基づく対策を実施して開催します。

(2) まん延防止等重点措置時

会場の市町がまん延防止等重点措置の対象になった場合は、対策を強化（※）しながら開催することの可否について、関係市町の意見も踏まえて対応を決定します。

また、会場の市町以外の県内市町がまん延防止等重点措置の対象になった場合は、必要に応じて対策を強化（※）しながら開催することを基本に、関係市町の意見も踏まえて対応を決定します。

(3) 緊急事態宣言時

香川県又は岡山県が対象になった場合は、それぞれの県内において、延期又は一時中止を基本に、関係市町の意見も踏まえて対応を決定します。

(4) その他

（香川・岡山それぞれの）県外が緊急事態宣言区域等になった場合は、本指針に基づく対策を実施して開催し、対策を強化（※）することを検討します。

なお、延期又は一時中止を行うことも関係市町の意見を踏まえて検討します。

※ 以下の対策の実施を検討

- ・ 来場者に対するワクチン接種済証又は陰性証明書の確認〈注〉
- ・ 屋内作品の入場制限の強化、一部会場（作品）の公開停止
- ・ 実行委員会が主導する「食」の提供の中止
- ・ イベントの入場管理の厳格化（身分証明書での本人確認の実施）又は中止

〈注〉今後の国の方針を確認の上、必要に応じて修正

直島での対応

(1) 検温及び体調確認

各作品（受付のない屋外作品は除く）及び施設の受付において、スタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

② 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送用の船舶、車両を活用（※）することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます。

※有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースとしても活用



豊島での対応

(1) 検温及び体調確認

各作品（受付のない屋外作品は除く）及び施設の受付において、スタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

② 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送用の船舶、車両を活用（※）することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます。

※ 有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースとしても活用



女木島での対応

(1) 検温及び体調確認

高松港（発券所付近）において、実行委員会のスタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

※ 高松港での対応を基本としますが、島内（案内所又は作品受付）でも同様の対応を行います。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 救護スペースの確保

有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースを女木島案内所周辺に設けます。

② 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

③ 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送船を活用することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます。



男木島での対応

(1) 検温及び体調確認

高松港（発券所付近）において、実行委員会のスタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

※ 高松港での対応を基本としますが、島内（案内所又は作品受付）でも同様の対応を行います。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 救護スペースの確保

有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースとして旧男木コミュニティセンターを活用します。

② 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等でのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

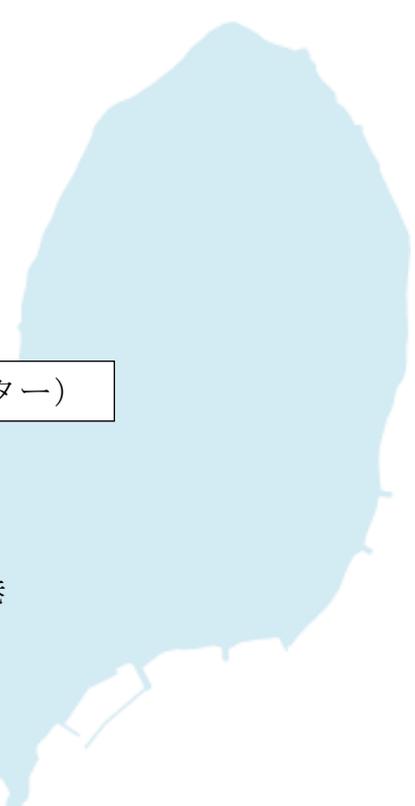
③ 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送船を活用することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます。

検温場所 | 高松港（発券所付近）
| 案内所又は作品受付

救護スペース（旧男木コミュニティセンター）

男木港

A light blue map of Oki Island is shown on the right side of the page. A blue dot on the western coast of the island is labeled '男木港' (Oki Port). A line connects this dot to a text box above it that reads '救護スペース（旧男木コミュニティセンター）'. To the left of the map, another text box contains the text '検温場所 | 高松港（発券所付近） | 案内所又は作品受付'.

小豆島での対応

(1) 検温及び体調確認

各作品（受付のない屋外作品は除く）及び施設の受付において、スタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

② 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送用の船舶、車両を活用（※）することも含めて、密にならない状態で本土側や島内の医療機関に移動できる対策を講じます。

※ 有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースとしても活用

● 検温場所 | 各作品受付（予定）



大島での対応

(1) 検温及び体調確認

高松港（船乗場）において、実行委員会のスタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

※ 高松港での対応を基本としますが、島内（案内所）でも同様の対応を行います。でも同様の対応を行います。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 救護スペースの確保

有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースを大島案内所周辺に設けます。

② 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

③ 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送船を活用することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます。



犬島での対応

(1) 検温及び体調確認

犬島案内所において、スタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 救護スペースの確保

有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースとして犬島チケットセンター2階を活用します。

② 医療従事者への相談体制

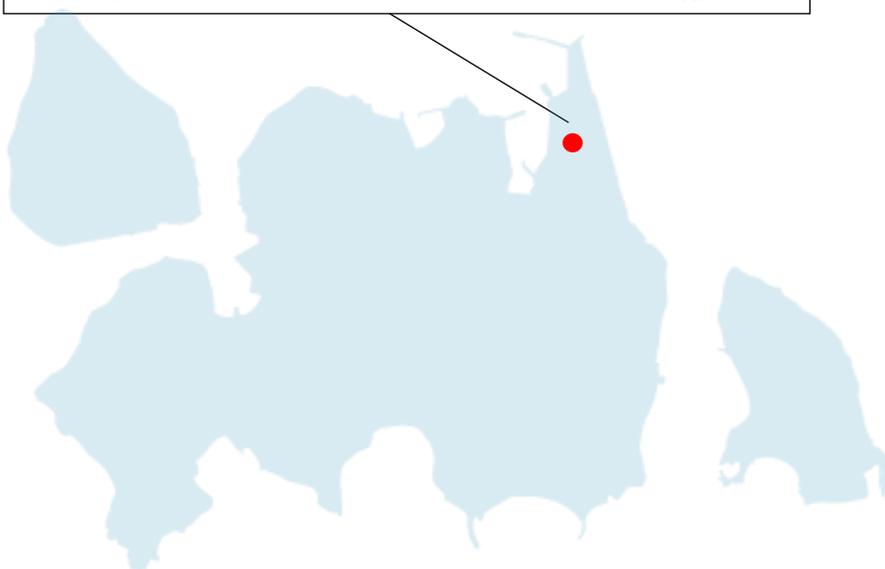
芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

③ 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送船を活用することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます。

● 検温場所 | 犬島案内所（予定）

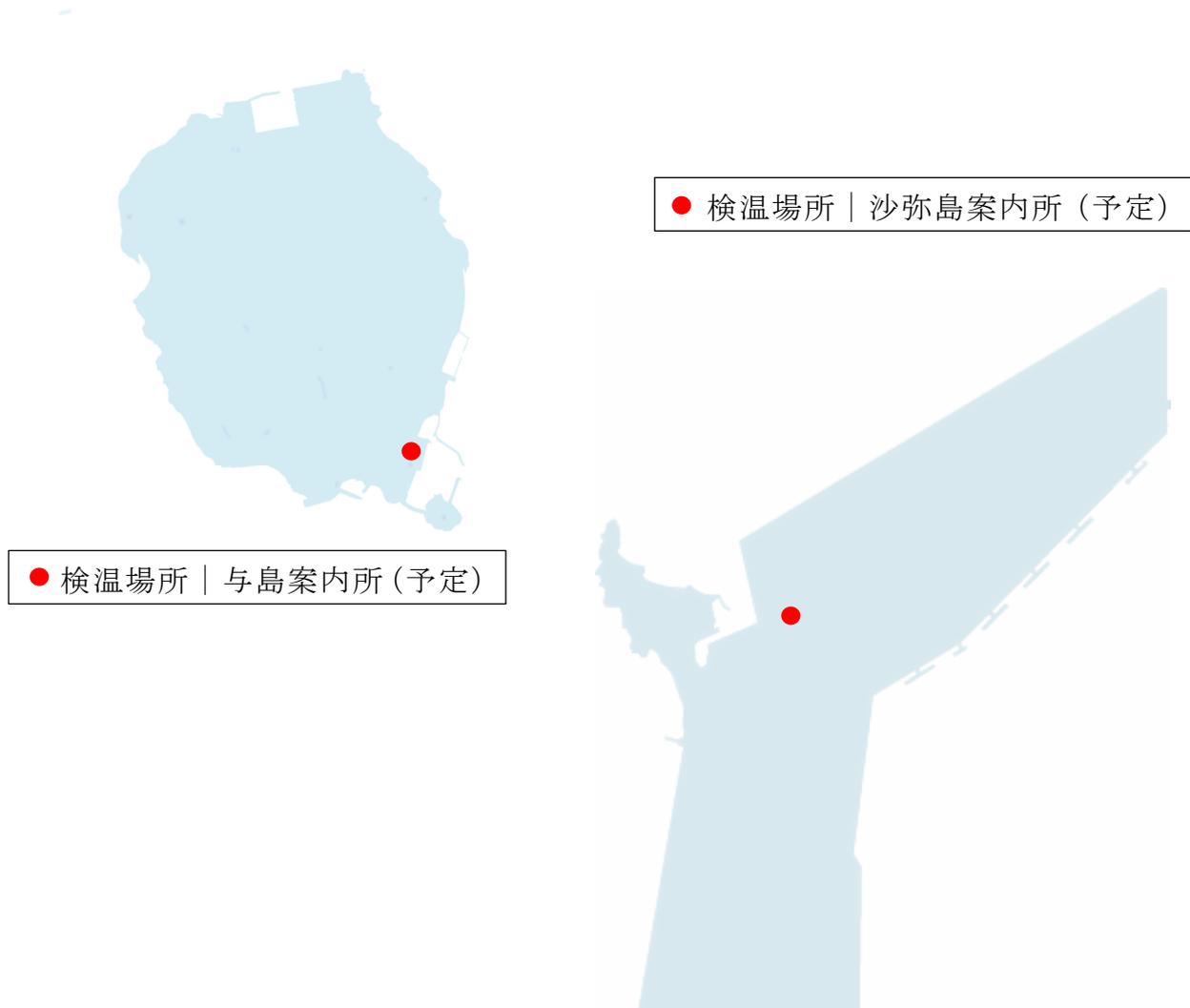
救護スペース（犬島チケットセンター2階）



沙弥島での対応

(1) 検温及び体調確認

沙弥島案内所及び与島案内所において、スタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。



本島での対応

(1) 検温及び体調確認

丸亀港及び児島観光港（発券所付近又は船乗場）において、実行委員会のスタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

※ 丸亀港及び児島観光港での対応を基本としますが、島内（案内所又は作品受付）でも同様の対応を行います。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 救護スペースの確保

有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースを本島パークセンター周辺に設けます。

② 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

③ 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送船を活用することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます（島内搬送用の車両も確保します）。

検温場所 | 丸亀港及び児島観光港（発券所付近又は船乗場）
| 島内（案内所又は作品受付）

救護スペース（本島パークセンター（屋外テント））

● 本島泊港



高見島での対応

(1) 検温及び体調確認

多度津港（発券所付近又は船乗場）において、実行委員会のスタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

※ 多度津港での対応を基本としますが、島内（案内所又は作品受付）でも同様の対応を行います。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 救護スペースの確保

有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースを高見港周辺に設けます。

② 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

③ 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送船を活用することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます。

検温場所 | 多度津港（発券所付近又は船乗場）
| 島内（案内所又は作品受付）

救護スペース（予定）

高見港

粟島での対応

(1) 検温及び体調確認

須田港行バス乗場（JR詫間駅、経面臨時駐車場）において、実行委員会のスタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

※ 須田港行バス乗場での対応を基本としますが、島内（案内所又は作品受付）でも同様の対応を行います。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 救護スペースの確保

有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースを粟島港周辺に設けます。

② 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

③ 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送船を活用することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます。

検温場所 | 須田港行バス乗場（JR詫間駅、経面臨時駐車場）
| 島内（案内所又は作品受付）

救護スペース（予定）

粟島港

A map of Misaki Island, Japan, showing the coastline and surrounding waters. A blue dot marks the location of Misaki Port (粟島港). A line connects this dot to a text box above it that says '救護スペース（予定）' (Planned relief space). Another text box at the top left of the map area lists '検温場所 | 須田港行バス乗場（JR詫間駅、経面臨時駐車場） | 島内（案内所又は作品受付）' (Temperature check locations).

伊吹島での対応

(1) 検温及び体調確認

観音寺港（発券所付近又は船乗場）において、実行委員会のスタッフが来場者の検温及び体調確認（口頭又はフリップ等により風邪等の症状の有無を確認）を行い、37.5度以上の発熱又は風邪等の症状がない場合は、検温等が完了していることを証するリストバンド（当日限り全会場で有効）を配布し、症状がある場合は、芸術祭の作品及び施設の鑑賞をお断りする旨を伝えます（リストバンドを付けている来場者には、検温等は実施しません）。

※ 観音寺港での対応を基本としますが、島内（案内所又は作品受付）でも同様の対応を行います。

(2) 有症状者の発生時の対応等

島での有症状者（37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する者）の発生時に備えて、次のとおり対策を講じます。なお、来場者に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、医療機関や保健所の指示に従って適切に対応します。

① 救護スペースの確保

有症状者が他の来場者等から離れて休憩や待機ができる救護スペースを島内に設けます。

② 医療従事者への相談体制

芸術祭の会期中、高松港旅客ターミナルビル3階に設ける実行委員会本部に看護師1名を常時配置して、オンライン等で有症状者とのやり取りや現地のスタッフへの指示等を行えるようにします。

③ 密にならない状態での本土側への移動（救急外搬送の場合）

看護師等の意見も踏まえた上で、実行委員会が確保する搬送船を活用することも含めて、密にならない状態で本土側に移動できる対策を講じます。

検温場所 | 観音寺港（発券所付近又は船乗場）
| 島内（案内所又は作品受付）

救護スペース（予定）

真浦港